

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第57号(平成29年2月号)



鶏鳴いて新年の門ぞ開きける（直人）

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之
〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内
TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459
Mail:center-office@shijyuku.net

理事長 仲野十和田
TEL:03-3963-5572
広報部長 大住 明敬
TEL:048-957-8608

理事長コラム



昨日12月11日（日）に丸亀で行われたエリア四国主催の研修会では、四国の皆様大変お世話になりました。長年教育業界を歩んでこられた糸井氏（教育開発出版）ならではの高大接続の解説はとても参考になりました。

さて、最近は四国に行く際、瀬戸大橋の景色が見たくて電車で行くことが多かったのですが、今回は初のLCC（格安航空チケット）にて高松入りをしました。というのもLCCを良く利用している鈴木学さん（センター会計）という強い味方がいたからです。何かと規制などが多いと聞いていたので一人では少々不安でした（笑）。成田空港8：00時フライトでしたので、6：30に近隣の駐車場で集合。通常首都高経由で行くと1時間30分から渋滞すると3時間近くかかるところを、一般道にて1時間20分で着いてしまいました。走行距離は30km減。なんともエコな…。

空港へ着くと、第2ターミナルから無料バスまたは歩いて（約15分）第3ターミナルへ移動。その場所は付け足したプレハブの様な感じでした。なるほど経費を最大限削減したと言われている意味がわかりました。手荷物も7kgを超えてはいけないということで、鈴木さんが入念にチェックをしてくれ、ジャケットに入れられるものはそのようにしました。そして、無事機内へ。私たちを乗せた飛行機は無事定刻でフライトをしましたが、着陸後すぐに次の目的地に行かなければならぬLCCは、夜になるほど遅れる確率が高いとのことです。さらに、欠航の場合は払い戻しだけで次

理事長 仲野十和田（ナカジュク・東京都）

の便は用意されないので大変です。ちなみに鈴木さんは以前北海道で欠航になったとき、3日間足止めをくらったことがあるそうです。LCCを利用するときはいろいろなことを想定しなくてはなりませんね。ちなみにこの時の飛行代金は往復約12000円でしたが、鈴木さんに言わすと「高い」とのことです。さて、みなさんはどうちらを選びますか？

予定通り高松空港へ着くと、湯口哲朗先生が向かいに来てくれていました。朝が早いのでバスで行くつもりでしたが、前日にお父上から連絡が入り急遽手配をしたこと。頭が下がります。お陰様で哲朗先生お勧めのうどん屋さんを2軒はしご。言うまでもなくこれがまた美味しい！便の関係で朝早い行動となりましたが、湯口親子の粋な計らいで素敵な時間をいただきました。ありがとうございます。

話は変わりますが、最近開塾初年度の生徒の写真や、その当時の授業ビデオなどが立て続けに見つかりました。ボロアパートの4畳半1部屋で始めたので、問い合わせの電話が入ると、あまりのボロさに中に入る前に帰ってしまうと思い、直接生徒宅へ伺いました。採点が終わらないと夜な夜な生徒の家のポストへ返却しに行ったこともあります。ビデオは何とか自分の授業力を上げたかったので、とても嫌でしたがよく見ていました。塾業界で話題の「みかづき」（森絵都 著）の時代背景も丁度そのころなので、塾という仕事は何なのか？を考え直す良い機会を得ました。

いい仕事です…。

2016年塾団体合同忘年会

主催：東京私塾協同組合

平成28年12月4日

渋谷エクセルホテル東急6階「プラネツ」

報告：鈴木正之

恒例の塾団体忘年会が開催された。東京私塾協同組合の鈴木幸広理事長のご挨拶で開会された。私塾ネットとしての参加は谷村会長、仲野理事長、私の3名。他に他団体として参加した私塾ネットのメンバーが多数。私学の先生方ともお会いできて楽しいひと時が過ぎた。

参加者は100数十名。長きに渡り続いている合同忘年会だが、以前は役員以外の参加者が多く2次会も又楽しみであった。現在は役員のみが参加するようになってしまった。東京私塾協同組合さんと協力をしながら、他団体とも話し合い、私塾ネットからの参加者を増やしていきたいと思う。



塾団体紹介。AJC森理事長のご挨拶の後方に仲野さん



↓東京私立中高協会の近藤会長は辛口のメッセージで会場を沸かせた

私塾ネット 第15回 全国塾長・職員研修大会

**中室牧子先生の
『「学力」の経済学』**
 ~ 教育経済学。エビデンス。塾への提言。~
学歴では年収は変わらない。子どもにゲームはさせてもOK。
平成29年(2017)4月16日(日)
東京アルカディア市ヶ谷(私学会館)

今年の私塾ネット全国研修大会は。。。

一昨年、大きな話題となった中室牧子先生の『教育の経済学』

人が成功するために（幸せになるために）教育にできることは何かを、教育経済学の立場から中室先生にお話しいただきます。

今年もおおいに語り、しっかり傾聴という、私塾ネットの良さを活かした全国研修にします。

大勢の方にお越しいただき、共に学ぶ研修会にいたしましょう。

慶應義塾大学、中室牧子研究室。ホームページを拝見しました。

「教育経済学って面白い?」「ええ、とっても。だって教育には疑問がつきないから。」

1. 教育費って高いけど、本当に意味のある投資なのか?
2. 偏差値の高い大学にいくって、ホントにそんなに大事なの?
3. 子どものヤル気を起こさせるには?「アメ」と「ムチ」どちらが有効?
4. 塾ってホントにいく価値あるんですか?

例えば「国語力を上げるには読書だ!」本当に正しいのでしょうか?

思いこみではなく、調査して正しいか正しくないかを見極める。それが「教育経済学」。研修係の私は日本に最も必要なことだと思っています。中室先生のホームページを拝見しただけで、先生の厳

しくそして笑顔あふれる大きなエネルギーを感じます。先生にお会いでき、直接教えを乞えること、今からとてもに楽しみにしています。みなさんもぜひお越しください! 4月16日、東京、市ヶ谷! お待ちしております!。

研修部長 田中宏道 (ラピス鎌ヶ谷)



プログラム

第一部 研修大会

4月16日（日）

開場 午後1時30分

大会 午後2時00分～5時50分

『オープニング「私塾ネット新体制で」』

(60分) 午後2時00分～3時00分

- ・オープニング 映像で贈る

「私塾ネットこの1年」

- ・主催者御礼およびご挨拶

「いま改めて、私塾ネットとは」

- ・私塾ネットセンター理事長：仲野十和田

- ・ご来賓祝辞

(私学代表、学習塾代表、協賛企業代表)

- ・各エリアからの出席者紹介

- ・エリア代表からお一言

- ・アイスブレイク 「自己紹介&G N S T」

<休憩 20分>

大会基調講演 中室牧子先生

午後3時20分～4時20分

テーマ『教育に科学的根拠を』

<中室牧子先生プロフィール>

慶應義塾大学 総合政策学部准教授。政策・メディア研究科委員。

1975年奈良県生まれ。1998年慶應義塾大学卒業。米ニューヨーク市のコロンビア大学で学ぶ(MPA, Ph. D.)。専門は、経済学の理論や手法を用いて教育を分析する「教育経済学」。

日本銀行や世界銀行での実務経験がある。2013年から現職。

産業構造審議会等、政府の諮問会議で有識者委員を務める。

著書「『学力』の経済学」(ディスカヴァー・トウェンティワン)は発行部数累計30万部のベストセラーに。日本銀行では、調査統計局や金融市場局において実体経済や国際金融の調査・分析に携わった経験をもつほか、世界銀行では、欧州・中央アジア局において労働市場や教育についての経済分析を担当。

『深める。「中室先生のお話を受けて」』

午後4時30分～5時20分

◇小宮山博仁先生からのご提言

◇発表・傾聴・質問

「中室先生のお話を聴いて」

～何ができるのか？ 何をしているのか？～

『ふりかえりと感謝』

午後5時20分～5時50分

私塾ネット各エリアなどから

「学びの成果発表」

謝辞 私塾ネット会長：谷村志厚

第二部『懇親会』

午後6時15分～8時15分

熱気あふれる第一部に引き続き、第二部ではお食事をしながらさまざまな意見交換・情報交換をいたしましょう。

- ・主催者御礼およびご挨拶

- ・私塾ネットセンター理事長：仲野十和田

- ・乾杯

- ・ご来賓祝辞

(政界、私学、学習塾、関連企業代表)

- ・みなさまより、お一言ずつ

- ・私塾ネット エリア便り

- ・モバイル富くじ！

日本全国、地方色豊かなおみやげを(^o^)

■研修会費

| | 会員／賛助・協賛会員 | 非会員 |
|-------------------|--------------------|--------|
| 第一部+第二部 (1名追加) | 12000円 (10000円) | 13000円 |
| 第一部のみ | 2000円 | 4000円 |
| 第二部のみ | 10000円 | 10000円 |

■お問い合わせ・お申し込み

私塾ネット事務局

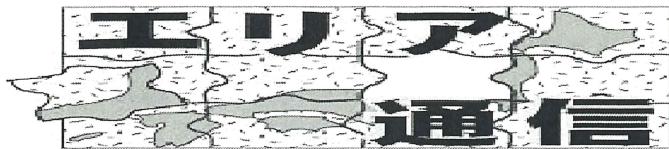
〒140-0014 東京都品川区大井1丁目54-6

(いぶき学院内) 鈴木

TEL 090-1506-2077

<http://www/shijuku.net>

E-mail:center-office@shijuku.net



**エリア東北 代表 安藤水無子
(Andy's・青森県)**

昨年9月にエリア東北として初の合同研修会を行い、エリア関東から11名の先生方にご参加いただきました。

八戸からむつまでの道中から、観光・研修会・懇親会まで大変楽しい時間を過ごすことができ、ありがとうございました。（もちろん、たくさん勉強もさせていただきました！）これからも機会がありましたらまた是非お願ひしたいと思っています。その折りにはどうかよろしくお願ひ致します。

今年のお正月は全く雪の無かった八戸も、先月からの大寒波で雪が道路にまだ残っています。青森県の中でも、全国ニュースになるぐらい雪の降る豪雪地域の津軽地方と、ほとんど雪の積もらないここ八戸、南部地方があります。青森県は全域で積雪2mというわけではないんです（笑）

来週からは私立高校の入試が始まり、来月の県立高校入試が終わるまでは息つく間もないぐらい忙しい日々が続きます。そしてその後は次年度の生徒募集！

昨年12月に私が20代のころからお世話になっていた先生が亡くなりました。心にぽっかりと大きな穴が空いてしまっている時に、今度は自分自身に思いがけず病気がみつかり年末に手術をしました。健康でいるときにはあまり気が付かないのですが、毎日元気に生徒と過ごすことのできる時間のありがたさをかみしめています。4月の研修会でたくさんの先生方にまたお会いできることを楽しみに、がんばっていきたいと思っています。

**エリア関東 広報部長 中村庸彦
(中村学院・神奈川県)**

年末も押し迫った12月18日、ナカジュク板橋校にて私塾ネット関東の研修会が行われました。

今回のテーマは「国語」。

学習の中でも基幹的な部分である国語の指導について、秀英ゼミナールSS教室の宮澤先生にご講義していただきました。

はじめのお話として、「Whole Language」の考え方。

言葉を子供達が獲得していく過程は、その子を取り巻く環境の中で言語的活用を身につけていく。例えば梅雨という現象をどの観点(国語、理科、社会etc)からメスを入れ、分析する、もしくは子供に分析をさせるのか。その分析の中で子供は様々な活用力を身につけていく。

そして分析するものを国語へと重点を置いて考えると次のポイントとしての語彙の獲得についての話へと続きます。



「本を読んだことのない子供に、本を読みましょうと言っても意味がない。」今の子供は確かに言葉を知らない。（みなさんもお感じではないでしょうか？）言葉を知らない子が文を黙読や音読をしても、文の内容を理解するまでには至らない。読みながら文節で区切れない、句読点で切れない、単語を読めない。話すと擬音語や擬態語が多い。先生の説明を聞いても理解ができない、さらに悪いことにウンウンと頷くだけで分かった振りをする。つまり、語彙力の習得をしないと文の意味を理解することはできない。

ここまでお話を伺い、すでに私は深く領き続けていました。

当学院の生徒でも、音読で変なタイミングで文を切る子や、言葉の意味を知らない子。葉書を「はしょ」と読む中学生、などなど。語彙の無さによる、内容理解の薄さに関してはほとほと困り果てていました。

さて、次の語彙の獲得方法についてのお話に戻りましょう。

そこでは様々なポイントが出てまいりました。

- ・難しい言葉を覚えるより、その言葉を言い換える力、説明できる力が必要。
- ・「何で」、「どうして」はとても大事である。
- ・家の会話がなければ、語彙力は育たない。
- ・大人の言葉で子供に話しかけることで子供の理解が膨らむ。

その意見に対して参加した皆様も意見が出始め、議論が活発化していました。

- ・辞書に調べた言葉の所へ付箋をつけさせる。（その言葉と通し番号をつけて）
- ・有名進学校では半分は紙の辞書、3割タブレット、残りは半々で言葉を調べる。
- ・ある人類学の教授の話では人は無意識下で見たものを覚えているので、紙の辞書を手に馴染むまで使い切る。
- ・語彙量を広げるには、本が良い、テレビがダメ、という方法論ではなくそこにどれだけアンテナをはれるか。
- ・語彙力を得られるような、知識を感じ取る場面が必要である。
- ・リズムがあると言葉は入って来やすい。
- ・語彙力をつけるには「要約」は大事である。

他にも、今後の教育改革についてのご意見や親御様との付き合い方、有効活用している教材の紹介など多岐にわたり話が盛り上がったところでお時間となっていました。

宮澤先生はもちろんのこと、他の参加されました先生皆様の貴重な意見交換の場となり、とても充実した研修となりました。

私も大量にお土産となるご意見をいただき、翌日からの授業がまた楽しみになりました。ちなみに、宮澤先生より伝授いただいた説明する力を養う方法で、質問に対する答えを3つくらい理由つけて説明させるというもの（例えば、「今晚食べたいもの

は？」という質問に対して「カレーライス」と答えたなら、なぜなのかの理由を3つくらい答えさせる）。

早速家に帰ると、小1の娘に試してみました。
なかなか面白いものとなりました。

まだ国語の議論の熱が冷めやらぬ中、私学の先生方や塾の先生方が加わって、今年1年の憂さを忘れない私塾ネット関東恒例の「夜」のしゃべり場へと席を移し、夜は更けていきました。

追伸

私、個人的に論理的文章の読解の方法や狙いについてその場にてご質問いたしました。たくさんの貴重なご意見をいただきましたが、この文をお読みいただいた方の中でもしご意見いただける方がいらっしゃいましたら、御一報いただけたら幸いです。

大井町から教育を考える会（OKK）主催 私塾ネット関東 協力 2016年度「教育講演会＆私立中高相談会」

於：大井町アワーズイン阪急会議室
センター会計次長 木谷朝子（OKK理事長）
2016年11月3日に開催された OKK『大井町から教育を考える会』の教育相談会は320名余りの参加者を得て終了した。参加校も28校となり、会場を2会場に増やす事となった。

そんな中、数名の保護者から「私が中学生だった頃は、学校の授業がさっぱり分からなくて 塾の先生が頼みの綱でした。」「塾通いをしていなかつたら、大学進学もなく、今の主人に出会い子供を授かることもなかつた。」「理科・社会の授業は小学校から問題があるので？ 5教科全体の強化が必要でしょうね。」といった塾の必要性を重視するお話をうかがえた。

今回、OKKの趣旨を理解してくださり濱野品川区長が開会式で挨拶。「勉強が好きではなかった私も、強制的に英語の塾に行かされた。そこで学習は、目から鱗だった。それまで敬遠していた時間がもったいないと感じた。」と塾人にとって嬉しい感想を述べてくださいました。このように、塾が認知され、今後はますます必要なものとして存在していくであろうという感触も得た。

教育講演会では講演者、「声の教育社」の三谷潤一氏からは、例年のように今すぐ使える受験情報、都立高校のマークシート方式の導入・その結果、数年続いた私立中高の全体的な難化がとまるなど貴重な講演をいただいた。この熱い思いが伝わる講演では、私立学校の先生方も熱心に耳を傾けていた。2020年の大学入試改革に話題が移ると、中3の生徒・保護者以外の方々も身を乗り出して注目されていた。

さらに今年から、品川区商店街連合会と品川区商店街振興組合連合会が加わった。地元の応援を得て、地元に密着した活動ができる気配が濃厚になってきた。

エリア中国 代表 佐藤 将紀
(若竹塾・広島県)

中国エリア 2017年の抱負

■西川 敏博【ノーベル学習館】

『共に学び 共に育つ』は弊社の教育理念（柱）です。今年も、職場の仲間・塾生・保護者様と共に学び共に育ちながら、「行きたい学校に」に進学し「やりたい仕事」で社会に貢献する人財を育てるために、学力と社会性の育成に全力で取り組みます！

■林 恵美子【E-juku はやし塾】

毎年受験シーズンを迎えるのは、明確な夢を持つ子は精神力が強い！ということ。だから「〇〇高校合格！」というゴールではなく、「〇〇高校で□□がしたい、△△になりたい」といった合格のNEXT STEPの先導ができるよう、今年度も真摯に生徒と向き合っていきます。

■平岡 文夫【平岡塾】

塾を始めて早くも40年が過ぎようとしています。その頃の信念を守り続けよく頑張ってきたと思います。この仕事は自分の天職だと、思いこませてやってきました。私が塾を始めたとき、お世話になった先生から「感謝される仕事だから、頑張りなさい。」と言われたことを思い出します。今年の目標は「退塾者ゼロです。」昨年は、幸いにして達成出来たので、今年も目標にします。自分が塾を始めた時の初心を守り、生徒に迎合せずに行こうと決めています。あと何年この素晴らしい仕事ができるかわかりませんが、健康に注意して頑張ります。

■影山 昌秀【駿英】

あけましておめでとうございます。毎回広報誌を読ませていただいています。色々な情報、皆様の元気な姿を見て元気をもらっています。今年も宜しくお願い致します。

■西本 雅明【パワーゼミ西本塾】

「新年昼食会」での出来事です。僕の正面にK浜先生がお座りになり、ふと見ると、痩せておいでの方に見えたので、まさかと思いつつ体重を聞くと、なんと僕が抜いていました。中国一の称号を手に入れたとたん、維持しようと心に決めました。

■河浜 一也【学習共同体河浜塾】

今年は、教育改革への準備、特に英語教育改

革・大学入試の出題の変化やその先行変化としての高校入試問題の変化、最新のテクノロジーによる教育への対応やプログラミング教育への対応など、やらねばならないことが山積です。

■吉長 あけみ【吉長塾】

中学受験を始めて4年目になります。小学生が目標を持ち、頑張っている姿に刺激をもらっています。年末年始、中学、高校、大学受験でピリピリとした時期ですが、生徒たちの笑顔を見るのを楽しみに頑張っております。生徒の笑顔を糧に今年も指導を頑張ります。本年も引き続きよろしくお願い致します。

■佐藤 将紀【若竹塾】

昨年末、脊椎間狭窄症で全く歩けなくなりました。1ヶ月間自宅で安静にしていました。生徒や代講の先生方には随分迷惑を掛けました。今まで少し頑張り過ぎていた感があります。今年は「丈夫で永もち」をモットーに一歩一歩…。



エリア四国 代表 寺嶋 謙次
(学習院セミナー・香川県)

先日、メールで次のようなご質問をいただきました。

4歳の息子を持つ母です。大きくなつて塾探しというのはよく聞く話ですよね。実際、私は中学の時の成績はよくなく、高校で猛勉強した覚えがあります。今振りかえると、読み取る力がなく、何回か繰り返し質問を読まないと頭に入って来ない、そんな状況でした。子どもには、私みたいな思いをさせたくないとは思っていますが、小さい時ぐらい、習い事をさせずのびのびと育てたい、そんな思いで今まで育ててきました。しかし、まわりの人や同じ保育園のお友達は習い事。しかもいくつもの。そうなるとやはり焦ってしまい、比べてしまい、自分の子育てとは真逆の育児になるんですよね。やはり、三つ子の魂百までと言われているように、小さいうちにいろんな経験、習い事などをさせて能力をひきだす方が、あとあと、子ども自身困らないのでしょうか？（こじこじ 4歳児保護者）

どんな返事をしようかと2、3日考え次のようにお答えしました。

こじこじさん、ご質問、ありがとうございます。

なるほど、こじこじさん自身は、一応の自分なりの答えは持っているんだけど、周囲と比べると焦ってしまう、というわけですね。その気持ち、とてもよくわかります。

それでは、一緒に考えてみましょう。

こういうときに、よく陥りがちな失敗が、メリット、デメリットを比較するという方法です。

例えば、今回の習い事を例に挙げると…、

メリットは、①保育園以外の人間関係ができる、友

達の幅が広がる。②同じ年齢の子どもがいるので、保護者が教えるより子どものやる気が出る。③得意なことが増え、自信を持つことができる。④好奇心が育つ。⑤子どもの持つ能力に気づくことができる。

デメリットは、①今より忙しくなり、家族で過ごす時間が減る。②優劣を競うようになり、煩わしい。③できなかつたら可哀そう。④お金がかかる。⑤送迎の手間が増える。

ざっと考えただけでも、これくらい出でてきます。各家庭の事情によると、もっとたくさんあるでしょう。そして、メリット、デメリットをたくさん挙げれば挙げるほど、ますます複雑になり、答えが見えにくくなります。

悩みごとの解決のコツは、あまり細かく考えないことです。考えても考えても結論が出ないからこそ、悩んでいるのですから。じゃあ、どうするか。それは、「方向性」を確認することです。

つまり、こういうことです。「子育て（教育）」って何だろう？

もちろん、「正しい答え」なんてものはないですよね。でも、「正しそうな方向性」というのはあると思います。それは「子どもの可能性を拓げる」ことです。

今回の「習い事」についても、「子どもの可能性を拓げる」ことから考えてみましょう。

すると、「①まず、やらせてみるべきだ」ということがわかります。最近では、体験学習ができる場合がほとんどです。最初から、親が選別・限定するのではなく、子どもが興味を持ちそうなことをいろいろやらせてみるのが良いと思います。その方が、その子に合った習い事に巡り合える可能性が拓がりますからね。逆に、「運動が苦手だから、サッカー教室に通わせよう」とか、「落ち着きがないから、書道を習わせよう」というようなマイナスからの発想は、子どもに苦痛をもたらすだけかもしれない注意が必要です。

そして、「②無理やり継続させない」ことも大切です。もちろん、単なる「わがまま」かどうかを、保護者さんが見抜く必要はありますが、原則として、子どもさんが「続けたくない」というのであれば、「合っていない」と捉え、次を考える方が良いと思います。無理をさせると、嫌いになって、かえって可能性が閉ざされることもあるので。

この①②を基本戦略として、その中で、「親子の時間」とか、「送迎の問題」などの具体的な問題を考えれば良いのではないでしょか。

結論：「子どもの可能性を拓げる」という視点から、まず、ダメ元で体験させてみましょう。その中で、いろいろな具体的な問題が出てくれば、そのときに考えれば良いと思います。思ったよりも大変かもしれませんのが、思っていた以上に簡単かもしれませんから。あと、「習い事」は「親がやらせている」という側面を忘れずに。無理に継続させるのは、考え方です。

と、返事をさせていただきました。皆さんはどう思われますか？

またお会いした時にご意見をいただけたらと思います。



私塾ネット四国・秋の研修会開催される

平成28年12月11日（日）・オークラホテル丸亀

報告：私塾ネット四国 広報 小野 昭

（小野塾・香川県）



今回の私塾ネット四国、秋の研修会には遠方にもかかわらず、仲野理事長、鈴木学氏、中村直人先生、渡邊浩先生、長江広紀先生にご参加いただき大変嬉しい限りでした。参加者42名の皆様のお顔を拝見しながら、近況を話し合うことが出来、この上ない研修になりました。

私塾ネット四国、今年の研修会テーマは「アクティブラーニング」です。春の研修会では、小宮山博仁先生をお迎えし、道後温泉ふなやにて熱弁をふるっていただきました。今回は、株式会社 営業本部長 糸井幸雄様にお越しいただきまして、より分かりやすく具体的なお話を聞いていただきました。早速、保護者や生徒さんにお伝えできる内容もあり、収穫の多い講演になりました。再度紙面をお借りしてお礼申し上げます。

開会のあいさつを、四国代表寺嶋先生よりいただきました。成績が平均以上の生徒さんには、映像授業がより効果的ではないかとのご意見でした。続きまして、仲野理事長よりご挨拶いただきました。職員研修を活発にされており、全国を飛び回る仲野先生お疲れ様です。



基調講演（14：30～16：00）

「これから求められる学習指導とは？」

株式会社教育出版社 常務取締役

営業本部長 糸井 幸雄 様

①学習指導要領の変遷について：「ゆとり」から「学力向上」・「平等」から「競争」へと移り変わっているとのこと。少子化、労働力人口減少時代の日本を牽引してくれる人材の育成に



注力していくことです。

教育の流れ・現状について：特に目を引いたのは、東京都立高校学力検査についてです。進学指導重点校（7校）を筆頭に4つのグループに分かれています。つまり公立高校の入試問題が4種類にレベル分けされているのです。問題の難易度は記述式からマークシート式にいたるまで歴然としていました。まさに平等から競争です。四国の先生方は、驚きも大きかったと思います。

新学習指導要領について：最大のポイントは外国語（英語）の教育強化です。小2020年から小学校5・6年では教科になります。そして、小学校で学ぶ英単語の数は600～700語程度です。現在の中学校が1200語なので、半分が小学校に降ります。さらには、新課程の中学校では1600～1800語が用意されています。まとめると、中学校卒業時点では現在は1200語、新指導要領ではなんと2200～2500語の単語数になります。倍増ですね。

まさに、保護者や、生徒さんに向けた情報を



発信し、自塾をアピールしていくべきすべきなネタをいただきました。皆さん保護者会等で、勇気を持って発信していきましょう。

第2部 「これから私塾の在り方」

(16:20~17:30)

湯口先生司会の下、パネラー8名及び参加者全員から、近況報告をいただきました。

十亀先生のオリジナル教材、丸橋先生の生徒数最高更新、エイブル学習塾さんの親子二人三脚の話などなど皆さんのご様子は刺激になつたりほほ笑ましかつたりと最高です。

(懇親会) オークラホテル丸亀12F

エメラルドの間 (18:00~20:00)

湯口先生司会のもと、華やかな懇親会となりました。途中、神野先生ご夫婦が駆けつけて下さいました。ご夫婦二人三脚でますます活躍の様子でし



た。夜の懇親会は個別授業形式といったところでしょうか。各人が様々なテーマで塾談議に花を咲かせました。

私塾ネット会友、碇優先生の逝去を悼む

私塾ネット会員にして（公社）全国学習塾協会副会長である碇優先生が、平成28年11月23日にお亡くなりになりました。碇さんは私塾ネットの旧団体であるPTF時代から、学習塾団体の活動の中核として様々な分野で活躍をされました。軽快なフットワークで全国を行脚され、魅力的な人となりも相まって、各地の塾人と親しく交流をされました。

ご葬儀は11月25日、群馬県太田市で営まれました。式場は全国の塾関係者からの生花で埋まり、参列者には地元や首都圏ばかりでなく、地方から遠路お越しになった方々のお顔が見受けられました。全国学習塾協会副会長として現役塾人とのお別れとあって、たいそう盛大なご葬儀となりました。賑やかなことがお好きであった故人らしい告別式であったと言えましょう。建教優智居士、俗名碇優、74歳。惜しまれるお別れでした。（谷村志厚）



碇優先生追悼特集

さようなら碇さん。黄泉の国でも数学を教えておられることでしょう

関教育学舎 関 志郎
「碇 優 先生を偲ぶ」

私が碇先生とお近づきになれたのは、1995年前後のことです、石川如雪先生を介してのことだったと記憶しています。二十数年前のことになりますね。

その後、碇先生からPC教育推進協会を立ち上げるので協力して欲しいとの連絡を戴き、快諾致しましたところ、突然、愛車に乗られて地の果て青森県のむつ市まで、飛んでこられました。

木訥に話されてはいるのですが、PC教育を熱く語られ、食事をご一緒させていただいた際には、「医者や女房には止められているが・・、出張先では無視だ。」と仰って、普通に食事をされ、お酒を飲まれていたことが、懐かしく思い出されます。

PC教育推進協会は、碇先生を理事長に、平林治先生を事務局長にして、誕生しました。私が、P検の公認試験官を認定していただいたのが、平成10年5月、1998年のことですから、1996年には発足したと思います。

その際に、東北支部を作ろうと言うことで、私に原形を作る様に指示があり、八戸・盛岡・仙台・多賀城を回って歩いたのですが、驚くべきと言いますか感激したのが、盛岡での支部結成式に、碇先生がまたしても、車で盛岡まで運転されて参加いただいたことです。碇先生の馬力というか、活動力には驚くべきものがありました。更には、盛岡の会合後、太田まで行くぞと、先生の愛車に私を乗せて、太田までドライブしました。夜半近くに太田に着いたのですが、そこで奥様にご挨拶させていただき、閉店時間になった寿司屋さんを無理やり開けさせて、当地の名産を振る舞っていただきました。

また、ご実家が青森ということで、私に対して殊の外目をかけて下さいました。とても、有り難く、ある意味で兄の様に慕っておりました。

その後も、二度ほど、むつまで車で突然いらっしゃったことも、今では楽しい思い出です。

私が、全国学習塾協会の理事・常任理事を務めさせていただくようになってから、私塾ネットの活動も、P推進の活動も疎かになってしまったのですが、何時も、碇先生からは電話を戴いたり、メールを戴き、情報を提供戴き、元気を戴いていた次第です。

全国学習塾協会で、次期副会長を考える必要があり、私は迷わず碇先生を推挙させて戴きました。そのことが、碇先生に肉体的・精神的ご負担をおかけしてしまったのではないかと、深く後悔すると共に反省しているところです。

協会の活動の中でも、筋・正論を通そうとする私

に対し、一部の反対派が存在していましたが、碇先生だけは、私の理解者として、何度も助け船を出して下さいました。

この写真は、碇先生と平林先生が2009年の春に、スタッフの方と3人で、むつまで旅行にいらっしゃったときのものです。



下北を色々とご案内し、食事もご一緒したのですが、天候がぱっとせず、早々に引き上げざるを得なかつたことが今でも心残りです。

このあと、何度か体調を崩されたと言うことを、人づてに聞いてはおりましたが、かつての肝臓の手術から不死鳥のように快復されて事が念頭にあり、まだまだ大丈夫、また、突然遊びにいらっしゃる、何かの会合でお顔を拝見できると楽観視しておりましたところ、過日、誠に残念な知らせを聞くことになりました。

平日で、授業変更をする時間もなく、線香の一本も上げられなかったことが、今でも、非常に悔やまれてなりません。

いつも、明るく、楽しい企画を考えておられ、後輩の面倒見が良い、私には過ぎた兄貴のような存在でした。

私塾ネットネットにとっても、学習塾業界においても、大きな星が一つ見えなくなったような気がします。

この紙面を借りまして、心からお悔やみ申し上げますと共に、先生の教えを忘れずに頑張っていいくことを宣誓させて戴き、追悼の言葉とさせていただきます。

学習共同体河浜塾 河浜一也
碇優先生のご逝去の報に接して・・・

碇優先生のご逝去より数日が経過いたしました。ご逝去の報に接し、その日が近いことをご本人の口からお聞きしておりながら、覚悟の後とは言え、やはり河浜の心は、大きく動搖し、言い知れぬ深い悲しみを受け止めきれずにいます。

自らの落涙のさまを見ながら、兄(あに)さんに、まだまだお会いしたかった。お話ししたかった。残念の想いが強く私の心を支配しています。涙は止まりそうもありません。

私は先生を兄と呼んでおりました。

「兄（あに）さん。」

と呼ぶといつも顔を上げ、塾の業界のどんなことにでも答えてくださり、お教えくださいました。また、兄さんには何度広島に足を運んでいただいたことでしょう。全国私塾連盟時代の広島での研修会・塾団体連合会の研修会・東京を離れて初めて行われた全塾連の全国大会や広島私塾連盟の研修会。社団法人全国学習塾協会の塾の日の大会やその際行われた宮島歴史散歩。そして私の結婚披露宴や他にもことある毎に広島を訪れてくださった先生。食道楽の我々の前には、カキの土手鍋やそば入りのお好み焼き。それから新宿でも、浅草でも・・・。横浜で、箕面で、八戸や青森で、長野でも…数えあげるときりがありません。その度に私に声をかけてください、時には意見を求められ、時には情報をもたらして下さいました。議論が夜中に及んだことも何度もありましたね。

ナカジュク 仲野十和田

イカす親父でした。私が碇塾へ授業見学を行ったとき、足の調子が悪く、杖を使われていました。ところが授業が始まるとそれまでの様子が嘘のように、生き生きと楽しそうに講義をし、わからない生徒のところには飛び回るように机上巡回をしていました。亡くなる10日ほど前、ほとんど食事もできないような状態のとき、病室へ入るとテーブルの上には、高校数学の問題集が2冊置かれていました。「退院したとき忘れていると困るからね」と言われました。「生涯現役！万歳！」

向学館 監物 一男

私と碇先生との出会いは、平成7年にPTFに加盟してからです。当時は宮崎先生・木下先生もご健在で、碇先生が中心になって、研修会を開いていました。定期的に数学の教科研修をしてくださり、とても興味深い解説に、流石だなあと感服しながら聞き入っていました。私塾ネットになってからは、有志だけに限られてしまい、研修旅行でお会いするくらいになっていました。常に新しい教育機材に取り組み、そして食事には拘っていたのが印象深いです。まだまだご活躍していただきたかったです。謹んでお悔やみ申し上げます。

デザインオフィスズキ 鈴木 学

碇先生とは非常に密にお付き合いをさせていただき、心より感謝しております。「来年行こう」と約束してくれた、ねぶた祭りを見に行く計画が今となっては実現できず、ただただ残念です。どうか、これからは高いところから、お見守りください。ご冥福を祈っております。本当にありがとうございます。安らかにお休みください。

先生が塾の業界やその活動団体にしてこられた貢献は誰もが認めることです。東奔西走するお姿は、まるで万年青年。しかし、病の体を引きずりながら塾業界のためにと動いておられたことを私たちちは知っていました。

兄さん、あなたはその活動を全うされて、天に凱旋していかれたのです。その凱旋には本来涙は似合いません。しかし、河浜の涙は止まりません。あなたが逝かれたことで、私たちの心にぽっかりと開いてしまった穴の大きさが、兄さんの存在の大きさを物語っています。その大きさは計り知れませんが、河浜は、また明日から歩みます。これからも頑張ります。それは兄さんがしたように、一筋に教育の道を全うする人生を歩むために・・・。それが兄さんへの第一の供養だと思っています。

兄さん、どうかこれからも天にあってわれらをお導きください。語りつくせぬ思いを胸に、兄さんのご冥福を、心から心からお祈りいたします。

中村学院 中村 直人

20年ほど前横浜での塾団連研修大会で、兄に碇先生を紹介してもらったのが、最初の出会いです。その後、「数学の碇」のセミナーやパソコン研修会に参加し、親しくさせていただきました。このところは、夏の伊豆懇親旅行で、先生の興味深いお話を聞いたり、私の色々な相談事にアドバイスを頂いたりしました。本当に有難い先輩でした。特にその時の「寿司の鉄人」の勇姿が目に浮かびます。優しかった先生のご冥福をお祈りいたします。

桂馬ゼミナール 桂馬 辰尚

碇先生、ありがとうの一言です。数学の解けない問題を質問に行くと、飾らずペン一本で紙片に書いて、（授業料は）「高いよ～。」と言っては、解法を教えてくれました。一口飲んだきりの缶ジュースも、数万円もする万年筆も、すぐどこかに置き忘れてしまう先生ですが、数学の問題を楽しそうに解き、説明してくれる先生の目は、数学人生を実に楽しんでいるようで、数学の楽しさが伝わり、思わず碇ワールドに何度も引き込まれる体験をしました。先生は、大学の化学科に入学しながら、数学科の授業ばかり出ていたとの事。碇数学はこの頃から始まっていたのでしょう。数学を愛した先生を私は一生忘れません。先生、ありがとう。



平成29年（2017）から「私塾会館」設立のための 発起人・賛同者を募集します。登録料は無料です。

「私塾の歴史 資料館」 館長 佐藤勇治

昨年（2016）3月16日、40年来の夢であった「私塾の歴史資料館」を東京都調布市の調布学園地下1階に竣工し、開館することが出来ました。これも、全国の塾長先生・私立学校・企業の代表者・大学教授・研究者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

さて、今年は50年来の夢であります「私塾会館の設立」のための発起人・賛同者の募集を始めますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 直木賞作家・森絵都氏の小説「みかづき」について

（1）昨年（2016）10月、私塾ネット広報編集長の谷村志厚氏より電話を頂いた。

直木賞作家・森絵都さんの小説「みかづき」を知っているかとのことであった。「知りません」と答えると、「学習塾についての初めての本格的な小説で、昭和36年から平成に続く50余年の学習塾3世代の家族に関する物語である。是非、一読を薦めたい」と云われた。

谷村氏は、近隣の書店を探したが全て売り切れたので、アマゾン通販から取り寄せた「みかづき」を1冊送付して下さった。同時に「みかづき」を「私塾の歴史資料館」に保存してもらいたいと言うことであった。勿論、OKです。

（2）2017年1月号の「私塾界」では新春特別対談として小説家・森絵都氏と「株式会社市進ホールディングス」代表取締役社長下屋俊裕氏の対談記事が掲載されていました。その中で、「みかづき」は森氏が2年間だけ学習塾で英語を教えていたときの体験が役に立ったとの事でした。あとは取材と学習塾に関する書籍を参考にして書かれた様です。しかも、その内容が、学習塾の実態をリアルティイに捉えているのに驚かされました。

（3）「みかづき」は467頁の大著です。その巻末の「主な参考資料」の中に「学習塾百年の歴史－塾団体五十年史－」佐藤勇治編（全日本学習塾連絡会議）の欄がありました。同書は、私の50年の学習塾の経験と学習塾団体の役員を約40年間続けた体験を6年間かけて作成した「学習塾百年の歴史書」なので、光栄に思っています。森美都さんと下屋俊裕氏には、いつか調布市の「私塾の歴史資料館」に来て頂きたいと思っております。

（4）1月18日（水）の夜、テレビを見ていたら、今年の芥川賞・直木賞の受賞作品の発表が、1月19日（木）に、4月11日（火）に本屋大賞の発表があ

るとの事でした。そして、本屋大賞候補10作品の中に「みかづき」が入っていました。しかも、「みかづき」は、学習塾に関する小説であると紹介されていましたので、嬉しくなりました。

2 第1次 私塾会館設立の挫折と全国私塾連盟について

（1）昭和35年（1960）12月8日、東京都三田の「みずほ会館」で、全国最初の学習塾団体「全国学習塾指導者連盟」（3年後に全国私塾連盟に改称）が誕生しました。

（2）「全国私塾連盟」は昭和44年（1969）6月1日、会員の相互扶助を目的に、「私塾共済会」をスタートさせました。会員は、毎月1万円ずつ銀行に積み立てました。私も1万円ずつ積み立てた事を覚えています。

（3）「私塾共済会」はその目的の1つに「私塾会館の設立」を掲げていました。しかし15年間続いた「私塾共済会」は昭和59年（1984）6月13日、諸般の事情により解散し、積立金の全額を会員1人1人に返金いたしました。その時、私も約400万円の返済金を受け取ったことを記憶しています。同時にこの時、「私塾会館設立」の夢は消え去りました。

3 50年来的夢「私塾会館の設立」に再び挑戦

（1）全国私塾連盟の活動機関の1つであった、「私塾共済会」の会員は50名前後で、この中には、関西私塾教育連盟のメンバー数名が特別参加していました。しかも、私塾共済会は、学習塾団体の1つである全国私塾連盟（略称。全塾連）の有志のみでの運営でした。

（2）現在、学習塾団体が約150団体存在し、学習塾は全国で5万塾あると言われています。その中に、大手塾、中小塾、個人塾、フランチャイズ塾があります。大手塾が1塾で100塾から200塾くらいの分塾を運営していることを考えると、学習塾の実数は、約3万5千塾前後ではないだろうか。

（3）今回、50年来的夢である「私塾会館設立」のための発起人・賛同者募集に当たっては、前回の失敗を反省して、広く全国の大手塾・中小塾・個人塾・フランチャイズ塾のほか、私立学校・教育関連企業・大学教授・研究者の皆様に広く呼びかけることに致しました。

（4）発起人・賛同者が100名を超えた段階で、運営委員会を組織し、委員を選任して規約を作成し、公表します。規約の公表後、平成30年

(2018)より、出資者を募集します。今回は決して無理をせず、場合によっては、若い人たちに引き継いで頑張りでやって参ります。出資金は、前回と同じように銀行預金とし、全額を保障します。

4 どんな「私塾会館」を目指すのか

(1) すべては、運営委員会の決定によりますが、「私塾会館」は東京都内に設置したい。場所は、JR中央線、山手線または東京駅、新宿駅、池袋駅などの私鉄沿線に出来れば最高である。

(2) 「私塾会館」は土地を確保して新築のビルを建てるのが第1希望であるが、中古のビルでも良い。しかしこれも運営委員会の決定次第である。

(3) 構想としては、4階建てのビルで、地下1階に駐車場、1階に受付と研修室、2階にレストランとコーヒーショップ、3階に「私塾の歴史資料館」を移転し、設置したい。その他、貸事務所、有料の研修室を作り、出資者に利益を還元出来るようにしたい。

5 「私塾の歴史資料館」について

(1) 昨年(2016)3月に開館した「私塾の歴史資料館」には学習塾・塾団体・教育関係・業界紙・企業・官公庁などに関する蔵書、約10000冊と写真とアルバムが約50,000枚保管されております。これらの蔵書とアルバムの実費と財産は約1億円になります。

(2) 現在、「私塾の歴史資料館」の蔵書はすべて

「資料館運営委員会」(委員長=坂田義勝)に寄贈されています。運営委員会では1口1万円で終身会員を募集しており、会員は資料館を自由に利用することができます。

(3) 資料館の運営費は、終身会員費(1口=1万円)で賄われています。また、終身会員には会員証を発行しています。現在、終身会員を募集中です。希望者は下記までご連絡下さい。

(4) 資料館は私学会館が設立された時に、運営委員会の責任で、すべての蔵書と写真・アルバムを「私塾会館」に寄贈することになっております。

6 「私塾会館」設立のための発起人・賛同者の募集状況と報告会について

(1) 1月30日(月)現在の申込人数は、お正月を除く20日間で32人になりました。

(2) 申込人数が100人を超えた場合には、平成29年(2017)秋に報告会と総会を開催し、「私塾会館」設立のための運営委員を選出致します。その場合は別途、ご案内を差し上げます。

お問い合わせ 申込書請求先

〒182 調布市国領町5-49-1調布学園内

TEL 042-482-1481

FAX 042-483-1618

「私塾の歴史資料館」館長

「私塾会館設立」提案者

佐藤勇治

私塾ネットセンター会計部よりご挨拶 デザインオフィスズキ 鈴木 学



いつも大変お世話になっております、私塾ネット賛助会員、デザインオフィスズキ代表の鈴木学と申します。今年度より、監物先生に代わりまして会計部長への就任を仰せつかりました。まことに微力ではございますが、先輩各位ならびに皆様のご助言、ご協力をあおぎつつ、職務に邁進してゆきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。つきまして、本年度より私塾ネットセンターの口座番号が変更となっておりますのでご注意くださいませ。

私塾ネットセンター新口座番号
三菱東京UFJ銀行 柏中央支店(店番号275)
普通:0724131
シジュクネット カイケイブ スズキマナブ
※本年度にすでに旧口座へお振込された分に関しましては対応させていただいておりますのでご安心ください。

故碇優先生に 日本民間教育大賞特別功労賞

昨年11月に亡くなられた碇優先生(碇塾・群馬県太田市)に、日本民間教育大賞の特別功労賞が贈られることになりました。

特別功労賞は、民間教育とりわけ塾教育の発展に貢献された、故人に對して授与されるものです。

過去3年の日本教育民間大賞では、私塾ネットから佐藤勇治、山口恭弘、小関清一先生が最高功労賞を受賞されています。

授賞式&記念講演および祝賀会は以下の通り実施されます。

日時:3月21日(火)午後2時~

会場:学士会館(東京・神田)

会費:祝賀会10,000円

詳細は幹事会社の塾と教育社(Tel 03-6265 6855)までお問合せください。

私塾ねつと誌上句会 第二十六回

編集部 運

**玉の春孫の進歩に目を見張り
繰り返し温め七草のりとなり**

中村直人

昨年初孫を授かった直人さん、以来作られる俳句にお孫さんがしばしば登場する。以前披露された句に「初孫を抱けば放屁の春一番」とあった。これが俳句仲間で話題になつた。放屁の主は孫を抱いたおじいさんか、それとも抱かれた孫か? 結句の季語「春一番」が正解のヒントかと思えるが、皆さん如何。

**うららかに汗かく鼻の頭かな
春浅しパンダ地を飛ぶ夢の中**

長江勝秋

春浅しの句、これはどう解釈する? パンダ地を飛ぶの中七が奇想天外だ。凡庸なる小生にはたとえ夢の中でも、パンダが地を飛び姿など思いもつかない。が、様々にイメージは広がる。これも説明を極力省略する俳句ならではの鑑賞の妙であろう。

一年の計も立てずに松過ぎる

木内恭裕

かるた会格闘技並の女人達

「一年の計は元旦にあり」の由来は、三本の矢で有名な毛利元就の言葉とする説があるらしい。そしてこれには次のような続きがあるのだそうだ。「一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶴鳴(一番鶴が鳴く早朝)にあり」というそうだ。この説本当かな? でもうまくできている。

**立山の眠り覚ますや鰯起こし
赤鬼や「アメリカ一番」と豆をまき**

谷村志厚

立山の眠り覚ますや鰯起こし
赤鬼や「アメリカ一番」と豆をまき
なにかと話題のトランプ大統領、その風貌が何かに似てるな
思っていたら、節分の時節になり「そうだ、赤鬼だ」と気づいた。
なるほど「アメリカファースト」は「福は内」のことか
ガテンがいった。

編集部からお願ひ

次号は5月上旬発行の新年号です。

投句はお一人3句まで新年の季語でお願いします。
FAX047-3681-2189 谷村まで
締切は4月20日。ふるつてご投稿ください。

編集部からお願ひ
次号は5月上旬発行の新年号です。
投句はメールsukot@ainet.jpまたは
FAX047-3681-2189 谷村まで
締切は4月20日。ふるつてご投稿ください。

閑話休題

編集長 谷村志厚

春一番は別れの予兆。立春後初めて吹く強い南風が春一番だが、当地千葉では毎年公立高校の受験時にこの風が吹く。学習塾にとっては2月が年度末で、高校受験が最大の歳末行事。これが終るとたちまちにお別れの時を迎えることになる。千葉県の公立高校入試は、昨日14日に前期試験を終えた。まだ春一番は吹いてはいないが、合否発表の20日までには、ひと荒れあるのではなかろうか。

ちなみに、春一番という名称は、昭和38年2月15日に吹いた強風から広まったとの説がある。だが、俳句の歳時記には以前からあったとの声もあり、この説にいささか疑問が残る。

碇先生追悼特集に、青森の関さん、広島の河浜さんにご寄稿をいただいた。これに関東の有志が短文を添えるかたちで編集をした。北は青森から南は広島、碇さんのフトワークの良さと交際の広さが伺える。

私と碇さんとの出合いは今から33年以前になる。おそらく現役の私塾ネットメンバーの中では最古ではなかろうか。出合いの場所は東京都文京区にあった学参出版社文理の会議室であった。当時文理の主催するパソコン教材の研修会があり、目新しさに誘われて出席をした。会場には30名ほどの方が来られていたであろうか。すべて東京とその近郊の学習塾経営者であった。

私は脱サラ後この業界に入つて間もないころで、なにもかもが新鮮であった。その研修会の中、異彩を放っていた人物が二人おられた。そのお一人が研修会の座長役の渡辺公雄さん、そう人

間教育渡辺塾、渡辺浩さんの岳父である。そしてもうお一人が碇優さんであった。群馬からはせ参じたという彼は、いささか野暮だが、まだ当時は田舎のオジサンでした、元気はつらつ発言の多い人物であった。正直言って初対面の印象は良いとはいえないかった。その後何度も研修会を重ね、互いの人となりが分かってくると、出席する人達の層が固まってくる。そうすると、主催者の文理を離れ新たな研修グループが、自然発生的に生まれてきた。当時渡辺さんはPTF・東京私塾会の代表をされており、強引なまでのリーダーシップを発揮されていた。

昭和60年6月、PTF設立20周年研修式典が赤羽で開催された。我々は渡辺さんに誘われ、やや強引に、この式典に出席した。これが今につながる、私の学習塾団体活動の始まりだった。そして碇さんも、同じ歩みを踏み出したのであつた。

昨年11月23日、碇さんがお亡くなりになつた日の経緯は、鈴木さんが事務局通信で報告された通りだ。病院に見舞うはずが葬祭場の安置所で手を合わせることになるとは。初めての出合いから33年、引き寄せられるようにその場に立つことになったのは、碇さんと私の必然の別れであつたのだと思った。

25日のご葬儀の様子は9頁で触れた通りである。建教優智居士、名は体を表す、戒名は生前の人となりを表すと言うが、「建教優智」とは言い得て妙である。

碇さんのお別れ会を、との要望が届いている。2月の受験期を終えると業界も落ち着く、そろそろお別れ会実現のために動き出そうか。

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 鈴木正之(いぶき学院)



足利の病院へ向かう車の中、首都高でちょうど千住大橋を通過しようとした時、千住在住の平林治先生からの電話。「碇先生が今朝なく亡くなつたってよ」、「えっ・・・」、「碇先生が今朝亡くなつたって奥さんから電話がかかってきたんだ」、「えっ・・・、嘘でしょ・・・、先生、嘘だ!」、「嘘じやないよ!」、「冗談言わないで下さいよ!」、「本当なんだよ・・・」

何度も聞き返し、何度「嘘だ」とマイクに向かって叫んだかわからない。しかし平林先生が電話の向こうで号泣していたことで、受け入れがたい事実を信じることにした。目からあふれ出る物とやり場のない気持ちから車を一時停車させたかった。でもここは逃げ場のない首都高。そのまま車を走らせるしかなかった。

その日は碇先生のお見舞いに、谷村先生、中村直人先生、竹内先生と約束していた日。私は直人先生と一緒に車で、谷村先生と竹内先生は電車で足利駅に向かっていた。連絡を取り合い、太田駅に集合場所を急遽変更した。4人で出向いた斎場に碇先生はいらっしゃった。竹内先生がつぶやいた。「今にも目を開きそうだ」

私より1回り以上年上ではあるが、かわいくて、やんちゃで、いたずら好き。新しいもの好き、人好き、楽しいこと好き、みんなでワイワイガヤガヤが好き。少年のような純粋さを持った方だった。寂し

がり屋の先生にはいつも周りに人がいた。人が集まっていたと思う。その日も4人集まつた・・・。以上は、その当日に自宅で書いたものです。

碇先生は夢見る少年のような顔で眠っていました。彼が我々に残した記憶は財産であり、それは一生忘れられないし、これからも継がれていくものと思います。ご冥福をお祈りいたします。

大相撲初場所優勝の稀勢の里の横綱昇進が決まりました。「腐らずに我慢した」、「一喜一憂しない」という言葉が印象に残りました。何度も訪れた横綱昇進のチャンスを逃し、やっと掴んだ最高の地位。だからこそ価値あるものではないかと思います。

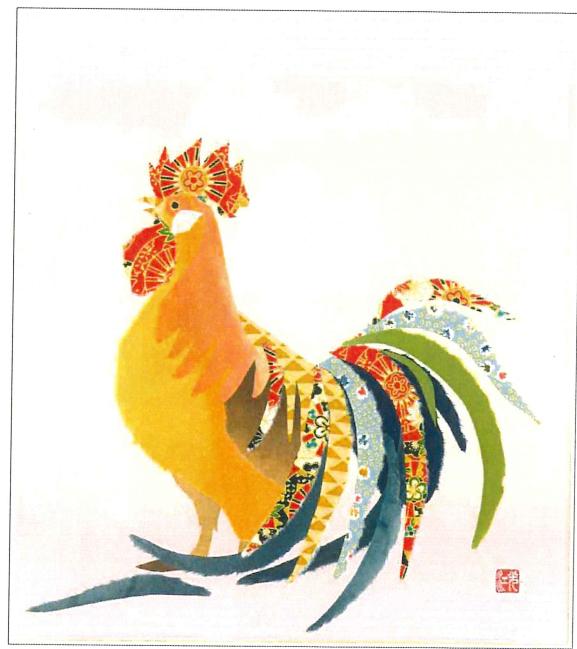
子供たちも志望校合格に向けて一生懸命です。しかし受験は全員合格できるものではありません。不合格となった時、腐ったり我慢できなくなったりすること、合否によって一喜一憂することは、もっと先の本当に大切なものを失う可能性があると思います。

受験の結果はどうであれ、受験は通過点。結果を受け入れ「精進」していかれば必ず未来の幸せにつながると思います。成長できるのは受験前、そして未来を決めるのは受験後一步前に出られるかどうかではないでしょうか。

稀勢の里は何度も悔しい思いをしそれでも諦めず、結果を受け入れ前を向きました。そして今があります。来場所以降の活躍に期待したいですね。

ちぎり絵歳時記④（酉年）

作画・中村光江



鶏鳴いて新年の門ぞ開きける（直人）

酉年の初号の表紙を彩るのは、艶やかな雄鶏が時を告げる図である。新春を飾るにふさわしいモチーフだ。コケコッコーと時を告げるのは雄鶏の仕事だが、都会暮らしでは、鶏の声を聞くこともまずない。こどもたちにとっては、鶏が時を告げると言われても実感のないことであろう。

ところで、雄鶏はどうやって朝を知り鳴き声をあげるのだろうか？さる研究によると、光とか音といった外部の刺激によるものではなく、遺伝子に組み込まれた体内時計が関与しているそうだ。ではなぜ雌鶏は鳴かず雄鶏が鳴くのかというと、鶏の世界の地位によるのだそうだ。要は雄鶏が群れのボスで、縄張りを主張し、侵入者に警告を発する行為だという。

ところで、「雌鶏勧めて雄鶏時を告げる」なることわざがある。夫が妻の意見に動かされる、つまり「かかあ天下」のたとえだ。では作画の光江さん、作句の直人さん、中村さんのお家はいかがな塩梅でしょうか。（谷村）

賛助会員一覧(順不同)

| | |
|--|-----------------------------|
| 関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2 | 村山サンドー先生 TEL03-3376-2244 |
| 江戸川学園取手中学高等学校 茨城県取手市西1-37-1 | 竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771 |
| 東洋高等学校 東京都千代田区三崎町1-4-16 | 石井 和彦先生 TEL03-3291-3824 |
| 桜丘中学高等学校 東京都北区滝野川1-51-12 | 品田 健先生 TEL03-3910-6161 |
| 聖徳大学附属女子中学高等学校 千葉県松戸市秋山600 | 川並 芳純先生 TEL047-392-8111 |
| 麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8 | 大野 博人先生 TEL03-3263-3014 |
| 春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213 | 宇野 祐弘先生 TEL048-737-7611 |
| 東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15 | 藤井 教戒先生 TEL03-3312-1111 |
| 八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲 2-14-1 | 横山 孝治先生 TEL03-3717-1196 |
| 関東第一高等学校 東京都江戸川区松島2-10-11 | 副田 康孝先生 TEL03-3653-1541 |
| 武蔵野中学高等学校 東京都北区西ヶ原4-56-20 | 筒井 敏夫先生 TEL03-3910-0151 |
| 和洋国府台女子中学高等学校 千葉県市川市国分2-3-1 | 和田 伸平先生 TEL047-371-1120 |
| 新渡戸文化中学高等学校 東京都中野区本町6-38-1 | 藤井三恵子先生 TEL03-3381-0196 |
| 東洋大学付属京北学園 東京都北区赤羽台1-7-12 | 杉原 米和先生 TEL03-5948-9113 |
| 大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12 | 矢部 一紀先生 TEL03-3762-7336 |
| 東京成徳大学中学高等学校 東京都北区豊島8-26-9 | 野中 修也先生 TEL03-3911-2786 |
| 日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32 | 河村 文夫先生 TEL03-3467-2130 |
| 青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6 | 伊東 充先生 TEL03-3782-1502 |
| 東京女子学園 東京都港区芝4-1-30 | 実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523 |
| 駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25 | 河合 孝允先生 TEL03-3828-4141 |
| 愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1 | 高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111 |
| 安田学園中学高等学校 東京都墨田区横綱2-2-25 | 金子 直久先生 TEL03-3624-2666 |

日本音楽高等学校

東京都品川区豊町2-16-12

伊庭 崇先生

TEL03-3786-1711

立正大学付属立正中高等学校

東京都大田区西馬込1-5-1

今田 正利先生

TEL03-6303-7683

上野学園中学高等学校

東京都台東区東上野4-24-12

高橋公美子先生

TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

館野 宏先生

TEL03-3261-9288

村田女子中学高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

二渡 道雄先生

TEL03-5940-4187

自由学園（中等部・高等部）

東京都東久留米市学園町1-8-15

更科 幸一先生

TEL042-422-3111

帝京中学高等学校

東京都板橋区稻荷台27-1

上瀧 栄治先生

TEL03-3963-7734

京華学園

東京都文京区白山5-6-6

今野 巍先生

TEL03-3941-6493

千代田女学園

東京都千代田区四番町11

長尾 和雄先生

TEL03-3263-6551

日出中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

東 隆道先生

TEL03-3492-3388

共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

松宮 博先生

TEL03-3601-7136

中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

富田 義道先生

TEL03-3642-8041

東京女子学院中学高等学校

東京都練馬区関町北4-16-11

宗内 信二先生

TEL03-5903-9559

株創開コミュニケーション

千葉県柏市柏2-7-22-202

小林 和光様

TEL04-7164-6511

株私塾界

豊島区東池袋1-39-1三善ビル

山田未知之様

TEL03-3987-0838

株S R J

港区芝公園2-4-1柴パークB館102

板橋 玲様

TEL03-5425-6534

デザインオフィスズキ

千葉県柏市柏687-6

鈴木 学様

TEL04-7164-8276

株エヌ・ユケーションネットワーク

千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F

齊藤 高志様

TEL03-5275-2101

小池教育研究所

愛媛県今治市大西町別府2380-1

小池 仁様

TEL090-1451-9757

株POPER

東京都渋谷区桜丘町3-16

栗原 慎吾様

TEL03-6892-1374

L T S 株式会社

千葉県柏市花野井1925-31

堺 健司様

TEL090-2400-9515

株トーエイ 柏営業所

千葉県柏市若柴297-12

柿内 智之様

TEL04-7190-5890

株塾と教育社

東京都千代田区飯田橋4-4-8-310

加藤麻由美様

TEL03-6265-6855

株式会社 ブックモールジャパン

埼玉県戸田市上戸田4-2-33

撫上 聰様

TEL048-447-7457